

事業所名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部兵庫県済生会
兵庫県済生会児童発達支援事業所なないろ

公表日 令和 8 年 2 月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	安全面に配慮しながら楽しく遊べる空間を確保できるように努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	人員配置基準は満たしており、活動内容や利用児の出席状況に応じた柔軟な職員配置により、個別対応が出来るようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・パーテーションを活用し個室空間を設けることで外部の刺激を軽減して取り組める環境を作っています。その中でスケジュールボードや写真、絵カードを活用し見通しを持ちながらスムーズに活動に参加できるように工夫している。 ・床にはジョイントマットを敷き、棚の角には保護クッションを施す等、転倒や接触の事故防止策を実施している。 ・都度環境の改善を図り、過ごしやすい環境作りを目指している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動後には消毒、清掃を行っている。 ・季節に合わせた装飾を行い、季節を味わえるようにしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別課題に集中できるようパーテーションで区切り個別の部屋を設けている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	病院職員も参加した会議を実施。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・事業所評価アンケート調査を実施し、結果を公表すると共に職員間でも結果を共有し、業務改善に繋げている。 ・面談で保護者の意向等聞く機会を設けて業務改善に繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	朝礼や会議、振り返りの時間等で意見を出し合い共有しながら改善に努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	実施できていないため、今後必要に応じて外部評価の実施も検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修の参加や内部研修、他施設の見学を経て支援の質を高めるよう努めている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて支援プログラムを公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	保護者とお迎えのフィードバックの時間を活用して事業所や家での様子を共有及び振り返りを行いながら計画作成を行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達管理責任者が計画を立て、職員と共有しながら最善の計画を立てるようにしている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画は常に確認できるようにしており5領域に合わせた支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントツールを作成し活用している。今後においても保護者と連携を図りながら定期的に評価を行い有効的に活用していけるよう努める。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個々に応じた支援内容を記載するよう努めている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	支援は1対1のマンツーマンであるが、チームで打ち合わせを行いプログラムを決めている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	一人一人の発達や状況に応じた課題設定となるよう、日々職員間で確認しながら行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育のため集団活動は実施できないが、同じ時間枠であれば2人の小集団での活動は取り組んでいる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	6	各担当が支援内容を考えている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	記録をしながら、気付きや出来たことなど職員同士で共有を図っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	SOAP記録を活用している。 記録時間の短縮を図り、振り返りや注意事項の共有の時間を多く設けられるよう努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	チームで振り返りを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	主に児童発達支援管理責任者が出席しており、状況については職員から聞き取りを行った上で参加している。必要に応じて担当が参画できるよう調整をしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	病院併設の事業のため病院との連携を図っている。その他、自立支援協議会に参加しており、その場で情報共有を行っている。また他の事業所間同士で研修を行い、人材育成にも努めております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	支援内容や状況等の情報共有を行っているが、必要に応じてや保護者からの依頼等があるときに園に訪問し情報共有を図っている。一人一人の発達を支援していく上で定期的に連携できるように努める。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	特別支援学校(小学部)に就学の際は、学校と連携を図りながら支援内容、様子などの情報共有を行った。今後も移行先が決まると連携を図り情報共有できるように努める。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	センターの支援体制強化事業を活用し、連携を図りながら環境設定やケースについて助言をもらっている。今後も連携を図りながらよりよい支援が提供できるように努める。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	交流は出来ていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	常に保護者と顔を合わせられるためお迎えの時間に様子を伝えたり連絡帳を活用することで情報共有を図っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ペアレントトレーニングは実施できていないが、保護者が交流できる場として座談会を開催し、保護者同士の繋がり形成や福祉資源の情報提供を行った。今後も継続していく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	定期的にあセスメントを実施し、こどもや保護者の要望を確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	年2回保護者と面談を行い、支援計画の説明をして同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて面談の実施 ・病院と連携し心理士による保護者カウンセリングの実施
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年2回保護者同士が交流できる場として座談会を実施。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れがあった場合には面談等を行い迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	連絡帳アプリの配信機能を活用して通信を発行することで行事やその他の活動の取り組みの様子を知ってもらうようにしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人ファイルは鍵付き書庫に保管している。 ・契約時に写真掲載や個人情報の取り扱いについて説明と同意を得ている。契約時の説明以外で写真掲載をする時は都度保護者に確認を行っている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	連絡帳アプリやお迎えの時間を利用して話しやすい環境を整えている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	現在は実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルの作成を行い、対応できるように体制作りを行っている。 防犯には鍵の施錠、さすまた、防犯システムを使い緊急時には病院職員や防災センターが駆け付けられる体制を作っている。 感染対策として、消毒・換気の徹底を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	計画的に行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に服薬の有無を確認している。てんかん発作時の対応方法を保護者、病院、事業所と連携を図り対応を行っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食事提供は行ってはいないが、アセスメント時にアレルギーの確認を行うと共に行事など食べる機会があれば都度保護者に確認を行ってから食べるようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し定期的に備品の確認や避難訓練を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画は常に閲覧できるよう連絡帳アプリで周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故報告書やヒヤリハット報告書を作成し事業所内で共有し改善策を検討しながら再発防止に繋がるよう努める。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部研修に参加。事業所内でも研修を行っている。 日々の支援の振り返りを行ったり、虐待防止チェックリストを活用し、意識できるように努める。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	対象児童はおりません。 身体拘束に関しては利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合は事前に保護者の了承を得ると共に計画に記載する体制づくりを行っております。また行った際は記録をするよう努める。	